

□■養成所ニュースプラス第7号 2023□■

本日から大阪会場のスクーリングが始まりました。2年目のクラスは、始まる前から和やかな雰囲気でしたが、1年目のクラスは、初めての対面で緊張の面持ちでした。でも、1時間目の途中には、笑い声も聞こえるようになっていきます。スクーリングでは既定の演習の内容を行うほか、事務局からも、レポート作成の再確認や国家試験対策のガイダンスを行わせていただきます。

今回は「相談援助の理論と方法」(現、「ソーシャルワークの理論と方法」)から相談援助過程についての問題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第34回問題102】相談援助の過程におけるインテーク面接に関する次の記述のうち、ソーシャルワーカーの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. クライアントの課題と分析を基に援助計画の作成を行う。
2. クライアントが解決したいと望んでいる課題について確認する。
3. クライアントの課題解決に有効な社会資源を活用する。
4. クライアントへの援助が計画どおりに行われているか確認する。
5. クライアントと共に課題解決のプロセスと結果について確認する。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

・(34期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

・(35期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。

・(35期生)見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて

入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。

・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

・スクーリングの詳細(実施要綱等)については、全受講生に向けて発送しています。届いていない場合やご不明な点がある際は、本養成所にお早めにお問い合わせください。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

・第36回国家試験は、令和6年2月4日(日)です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1088989&c=3246&d=99c7>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1088990&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1088991&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1088992&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第7号／七夕の日に強調したこと】

本日、スクーリングで、レポート作成の進捗状況を第35期生に尋ねました。笑顔で頷く方もいますし、笑顔で首を振る方、目が合わなくなってしまう方と様々でした。提出期限も迫り、皆さんの苦闘している様子が伝わってきました。

今回のガイダンスで改めて強調した点はふたつです。ひとつ目は、作成したレポートが求められている課題に対応しているかということです。「あなたの考えを述べなさい」とある課題では、テキストを写すだけでは求められた課題を満たさないこと、「具体例」「体験」をふまえて述べる課題では、それらがないと合格とならないことを共有しました。

ふたつ目はスケジュールリングです。レポート提出はあと4回あります。毎回最後の1週間でレポートを仕上げ、提出期日に間に合えばよいという考え方は、いかがかと思うのです。スケジュール管理はレポート作成だけのことではありません。その後、国家試験の勉強に切り替えた時にも大きく関係してきます。

うまく進められなかった方は、この機会にスケジュール管理を修正しましょう。また、レポート作成だけが印刷教材（テキスト）学習ではありません。レポート作成は、一つの課題から関連する内容に次々と視野を広げていくことで、科目全体を捉えることができる貴重な学習の機会です。

七夕の大阪の天気は、これから雨になるようです。結婚後、全く働かなくなってしまった織姫と彦星に神様が激怒して、天の川を作り、以前のように真面目に働けば、1年に1度だけ2人を会わせてくれると約束したという言い伝えもあります。厚い雲の上では、今年も織姫と彦星が天の川を渡り、愛を語らっていることでしょうか。皆さんの国家資格への熱い思いも必ずや成就することを願って。

【Plus Quiz 正答と解説】

最近の報道の中で、相談援助過程を意識させられたものに神戸の6歳児死亡事件がありました。保育園からの虐待通報後、2回目の訪問で児相職員に母親から育てにくさと一時保護の相談がありました。しかし、その後、祖母からの連絡で保護はなくなります。「面談は何度も求めたが、断られていた。どうにかして会えないか検討は続けていた」という神戸市の説明がありました。特に虐待事案におけるインタークにおける主訴の傾聴と信頼関係形成の難しさを感じます。

相談援助過程は、支援現場の主にミクロレベルで働いている方にもメゾ・マクロレベルで働いている方にも、もちろん実習を学んだ方にも馴染みのある内容ではないでしょうか。

共通科目12「ソーシャルワークの理論と方法」第2章から第6章に相談援助過程の意義と目的、方法、留意点などが説明されていますので、現場を思い浮かべながら確認ください。

アセスメントについては、第3章第3節に留意点が7点示されています。今回の選択肢も、「1アセスメントにおける個別化の重要性」「4当事者の参加や当事者の視点の重要性」を理解していれば、おのずから正解にたどり着けたと思います。正確な理解は1問に費やす時間の省力化にもつながります。

1. ×プランニングの記述です。プランニングは支援者のものではありません。ソーシャルワーカーは、クライアントが十分に検討して自身への支援計画を決定できるよう努め、その自己決定を尊重します。
2. ○インタークは、クライアントがソーシャルワーカーと出会う段階です。クライアントの主訴を個別化して傾聴し、信頼関係の形成を図ります。
3. ×介入（インターベンション）の記述です。介入は、支援計画を実行する段階です。目標にむけた具体的な方法を明確にします。
4. ×モニタリングの記述です。モニタリングでは、支援計画の進行状況について確認します。

5. ×モニタリングの記述です。モニタリングの内容では、クライアントの生活状況の変化、新たな問題点やニーズ、サービス提供上の不都合な点等を把握することも重要です。

※相談援助過程については、毎年何らかの出題があります。第35回は、プランニング、モニタリング、終結について問われました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus